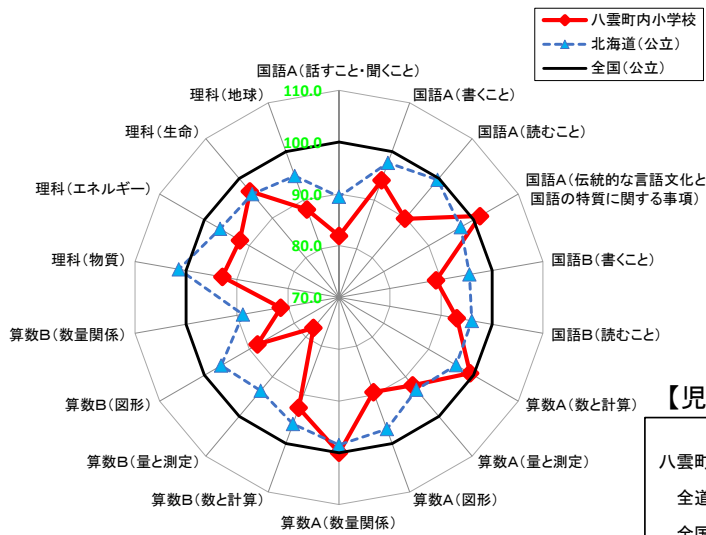


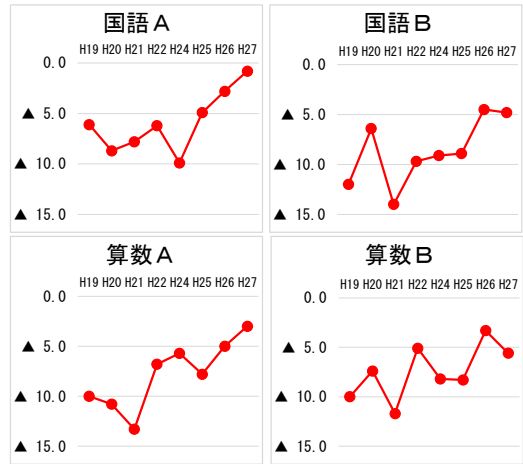
# ■八雲町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:8、児童数:136名)

## 【教科全体の状況】

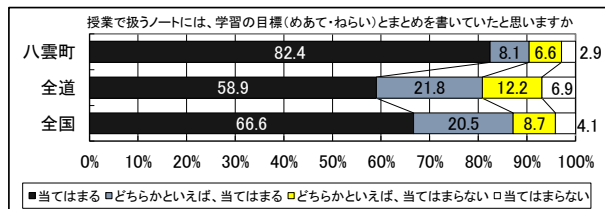
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



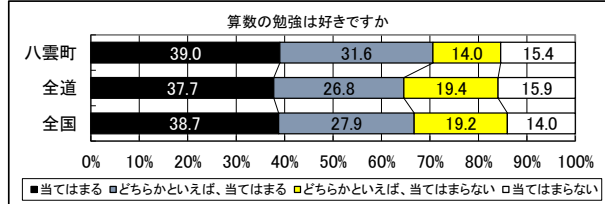
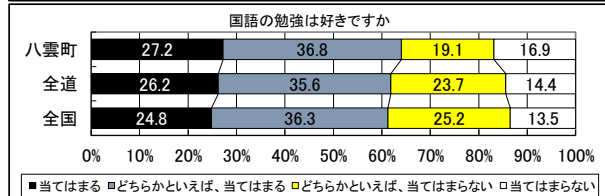
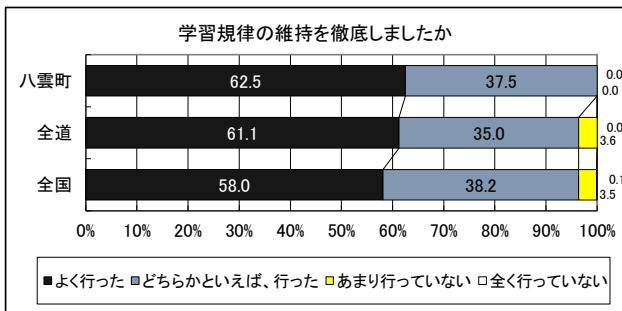
## 【平均正答率の全国との差の推移】



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

|       |  |   |
|-------|--|---|
| 教科    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」で全国及び全道を上回っている。国語Bでは、全ての領域で全道を下回っている。</li> <li>○ 算数Aでは「数と計算」、「数量関係」で全道を上回り、「量と測定」で全道とほぼ同様となっている。算数Bでは、全ての領域で全道を下回っている。</li> <li>○ 理科では「生命」で全道を上回っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各学校において、学習規律やノート指導の徹底など、授業改善を進めたことにより、基礎・基本が定着し、平均正答率の経年変化で、全国との差が縮小傾向にあるという結果につながったと考えられる。</li> <li>○ 授業の冒頭で目標(めあて、ねらい)を示し、終末でまとめ、ノートに記録するという指導がしっかりと行われていることが、児童が「国語や算数が好き」と回答した要因になっていると考えられる。</li> </ul> |
| 児童質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業で扱うノートには、学習の目標とまとめを書いている」、「国語、算数の勉強が好き」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 算数・理科に課題があることから、授業改善の重点教科として組織的に取り組むとともに、教科の専門的指導力を高める研修、教科の専門性の高い教員の専科配置、習熟度別指導の充実などの工夫が必要であると考えられる。</li> </ul>   |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学習規律の維持を徹底している」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>   |   |

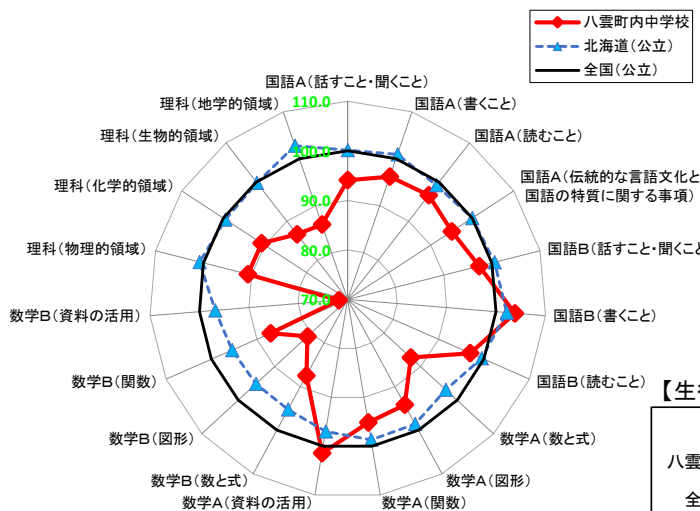
## 【八雲町の学力向上策】

- ◎ 「八雲町確かな学び推進会議」で町全体の結果からみられる課題の提示と自校の状況と比較した学校改善プランの見直し
- ◎ 各中学校区における分析結果の共有及び小中が連携した授業改善の推進
- ◎ 年間指導計画にチャレンジテストや全国学力・学習状況調査の過去問題を活用した補充・深化の時間の適切な位置付け
- ◎ 「八雲町確かな学び推進会議」が中心となった生活リズムチェックシートを活用した生活リズムの改善と、家庭学習の一層の習慣化
- ◎ 「八雲町確かな学び推進会議」による、教員の指導力の向上を図る研修の場の設定

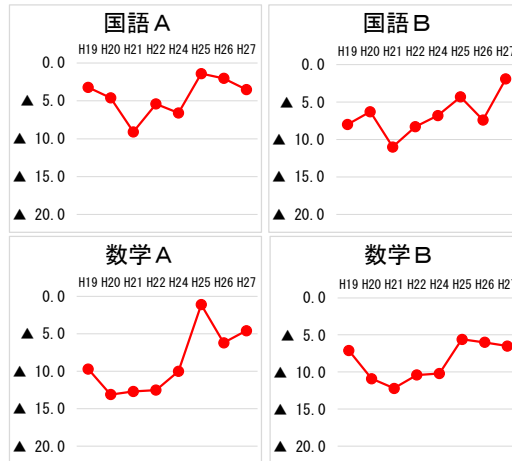
# ■八雲町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:5、生徒数:148名)

## 【教科全体の状況】

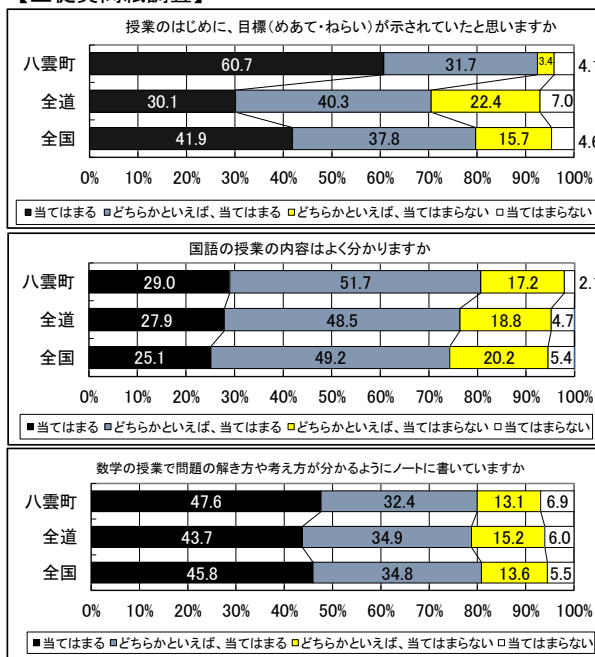
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



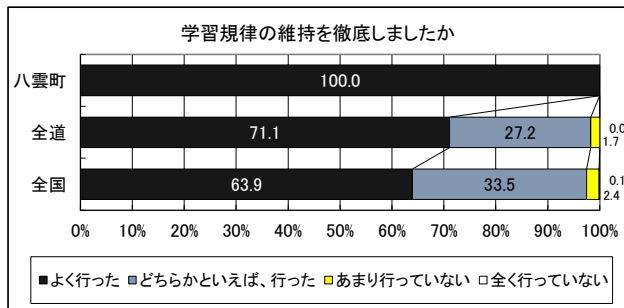
## 【平均正答率の全国との差の推移】



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

|       |   |   |
|-------|---|---|
| 教科    | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは、全ての領域で全道を下回っており、国語Bでは「書くこと」で全国及び全道を上回っている。</li> <li>○ 数学Aでは「資料の活用」で、全国及び全道を上回っており、数学Bでは、全ての領域で全道を下回っている。</li> <li>○ 理科では、全ての領域で全道を下回っている。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習規律が徹底されるとともに、授業の冒頭においてねらいを示し、終末でまとめる指導過程を確実に実施していることから、「授業の内容がよく分かる」と回答した生徒が多い。特に国語では、「分かる」と回答した生徒の割合が高く、それが平均正答率に表れていると考えられる。</li> <li>○ 学習指導や授業改善の成果により、平均正答率の全国との差が縮小傾向にあると考えられ、特に国語Bでは差が縮小している。</li> </ul> |
| 生徒質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「授業のはじめに、目標が示されていた」、「国語の授業内容はよく分かる」、「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いています」と回答した生徒の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業改善に取り組んでいるが、数学・理科に課題がみられる。これは小学校も同様のことから、小・中学校が連携して課題の解決に取り組む必要がある。</li> </ul>   |
| 学校質問紙 | <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「学習規律の維持を徹底している」と回答した学校の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>  |   |

## 【八雲町の学力向上策】

- ◎ 「八雲町確かな学び推進会議」で町全体の結果からみられる課題の提示と自校の状況と比較した学校改善プランの見直し
- ◎ 各中学校区における分析結果の共有及び小中が連携した授業改善の推進
- ◎ 年間指導計画にチャレンジテストや全国学力・学習状況調査の過去問題を活用した補充・深化の時間の適切な位置付け
- ◎ 「八雲町確かな学び推進会議」が中心となった生活リズムチェックシートを活用した生活リズムの改善と、家庭学習の一層の習慣化
- ◎ 「八雲町確かな学び推進会議」による、教員の指導力の向上を図る研修の場の設定